

地方創生加速化交付金に係る事業実施結果について

国は、地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけられた先駆性のある取組の円滑な実施のために、本交付金を平成27年度補正予算で創設しました。

市では、この交付金を活用して「さまざまな交通手段の連携による県内観光地へのアクセス強化・観光プロモーション事業」を実施しました。

事業実施に伴う効果について、「旭市総合戦略評価委員会」においてその効果検証を実施し、その結果は以下のとおりでした。

事業名	事業概要・目的	経費内容	事業 決算額 (円)	うち交付金 充当額 (円)	重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	評価委員会委員 からの意見	今後の事業 展開方針
					指標	目標値	事業終了時 の実績値			
さまざまな交通手段の連携による県内観光地へのアクセス強化・観光プロモーション事業	○夏の観光シーズンに比べ観光客が減少する秋(9～11月)において、過ごしやすい気候のもとで県内を周遊する新たな旅のスタイルを提案するべく、バス・鉄道などさまざまな交通事業者が連携して県内観光地へのアクセスを強化するとともに、県、市町村、宿泊・観光事業者も加わり、二次交通の確保や、さまざまな優待サービスの提供、観光イベントの集中開催など、県を挙げての一大観光キャンペーンを実施する。 ○中央部を縦貫する新動脈として圏央道の開通が進んでいることを契機に、成田空港から県内観光地へ新たに高速バスを運行させ、新たな人の流れ・観光需要を創出する実証実験を県及び関係市町との広域連携事業として実施する。 ○運行期間：平成28年9月17日～10月31日(45日間) ○運行区間：成田空港－銚子【周回】(匝瑳・旭まわり、佐原まわり)、各ルート2便 ○運賃：700円(成田空港発着航空便の利用者は無料)	バス共同運行业務経費	1,823,400	1,800,519	市内降車人数	200人	41人	KPIの達成状況は芳しくなかったものの、県・関係市町と連携したこと で、単独では成し得ない 広範囲で市のプロモーション活動の実施等、地方創生に一定の 事業効果が認められた。	周知が不十分で非常に もったいないと感じた。 アクセス面で旭だけが 取り残されている感じが あり、解決するための方 策を期待したい。 旭全体のPRも含めて、 アクセスを最重点として 施策を進められたい。	現行のままで本 格運行につなげ ることは困難と考 えられるため、実 証運行をもって事 業終了とする。
					観光入込	1,250千人 (目標年月：平成 32年3月)	2,161千人			